

外構工事

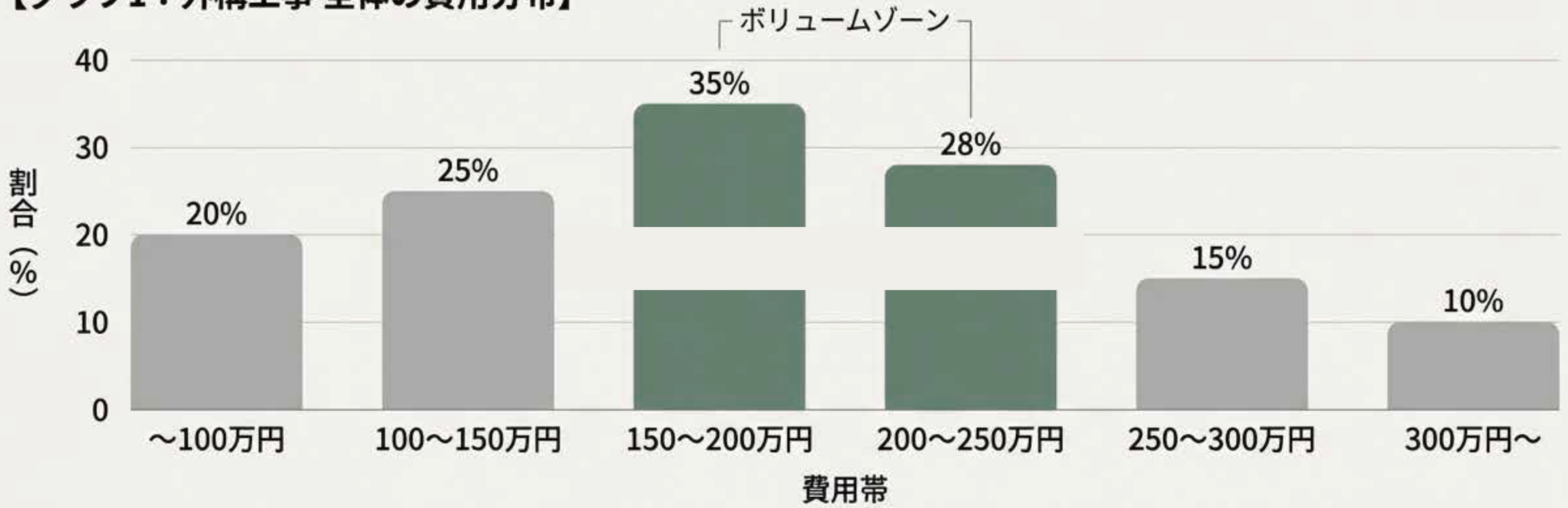
費用完全ガイド

暮らす家族に喜びを。

外構・エクステリア
パートナーズ

外構全体の費用相場は150万円〜250万円が中心です。

【グラフ1：外構工事 全体の費用分布】



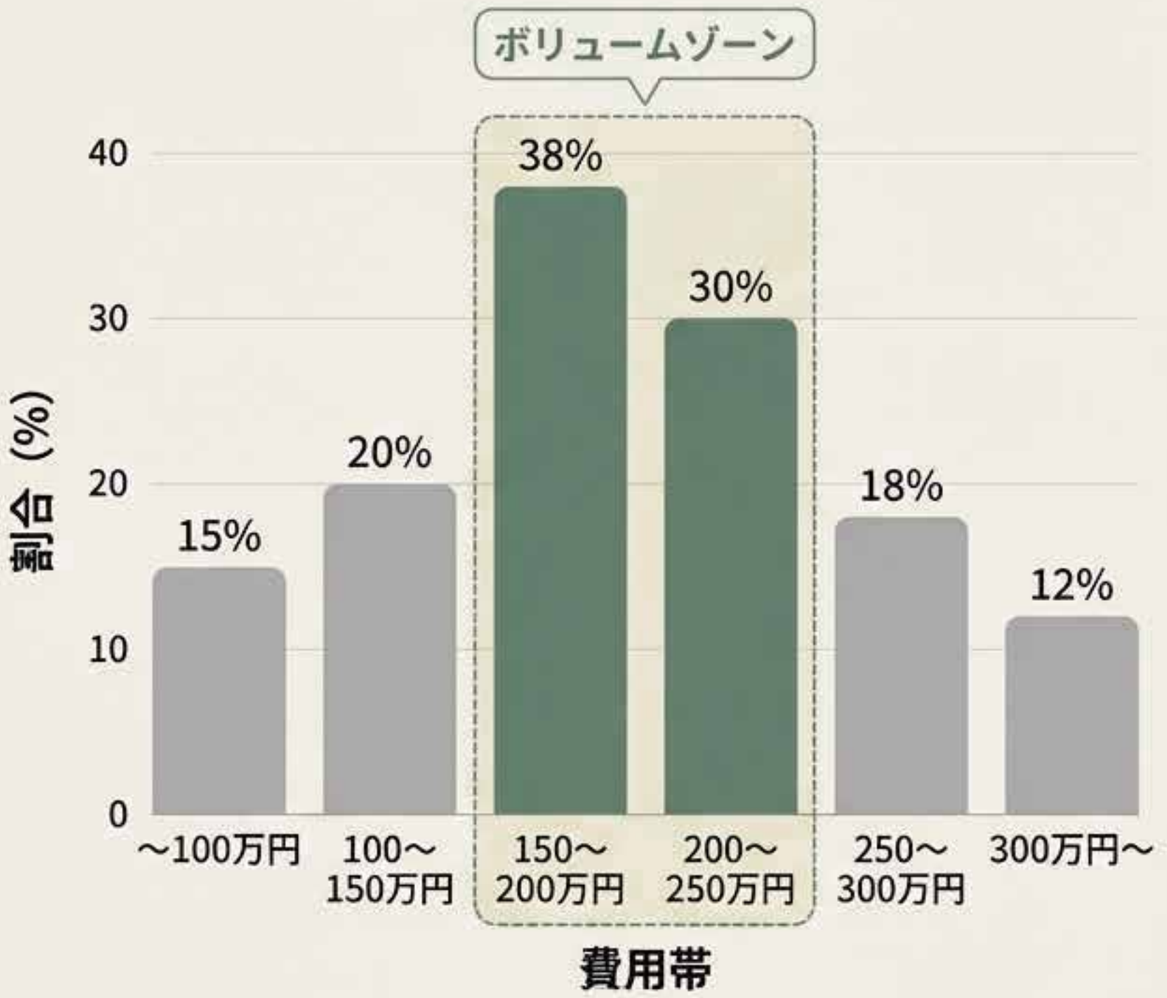
261名へのアンケート結果によると、新築・リフォームを問わず、この価格帯に工事費が集中しています。

ケース①：新築外構の費用相場

新築の場合、ボリュームゾーンは150万円～250万円です。

- 駐車場、アプローチ、最低限の境界フェンスなど、全体的な工事が必要になるため費用は高くなる傾向にあります。
- 近年、物価高を背景に平均費用は上昇中です。大手メーカーでは10～15%の値上げも実施されており、早めの見積もりが賢明です。

【グラフ2：新築外構の費用分布】



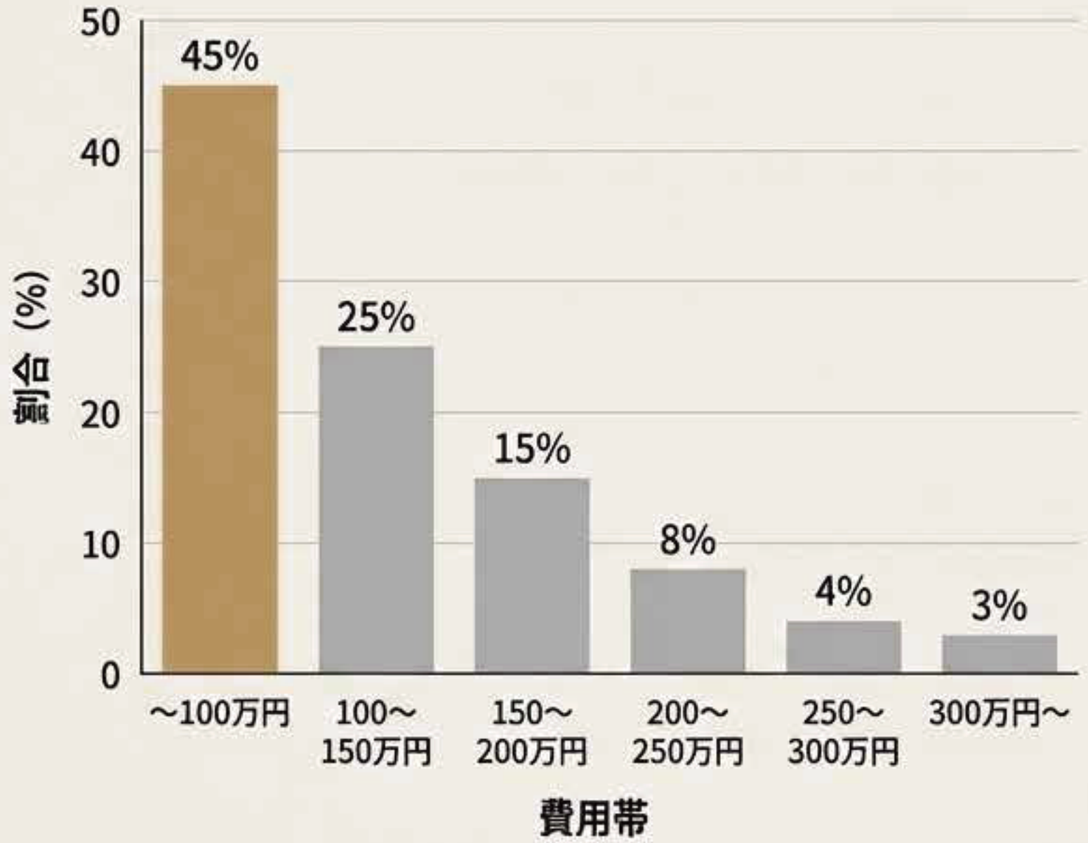
※外構・エクステリアパートナーズ調べ（回答者：新築）

ケース②：リフォーム外構の費用相場

リフォームの場合、**100万円以下が多数派**を占めます。

- カーポート設置、ウッドデッキ新設、雑草対策など、目的を絞った「部分的」な工事が中心となります。
- コンクリート打設のみ、人工芝の張替のみといったピンポイントな工事が多いため、新築に比べて予算を抑えやすいのが特徴です。
- 優先順位の高い箇所から手をつけることで、コストをコントロールしやすくなります。

【グラフ3：リフォーム外構の費用分布】

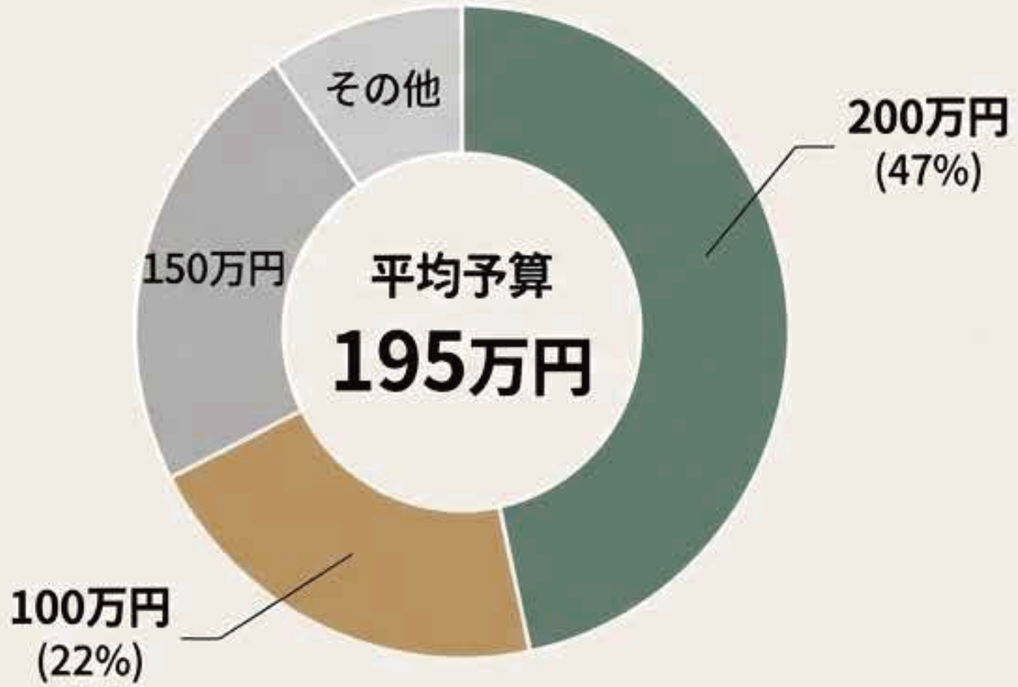


※外構・エクステリアパートナーズ調べ
（回答者：リフォーム）

では、みんなの「当初予算」はいくら？

3,827件の相談データから、新築外構のリアルな予算計画が見えてきました。

【グラフ4：新築外構の計画予算分布】



最も多い予算設定は「200万円」で約47%、次いで「100万円」が約22%でした。
「未定」を除いた平均予算は195万円。多くの方が200万円前後を一つの目安として考えていることが分かります。

※外構・エクステリアパートナーズ 利用者面談データ

予算計画の落とし穴：「理想」と「現実」のギャップ

要注意：予算100万円・150万円の場合、半数以上が予算オーバーに。

【グラフ5：計画予算 vs 実際の工事費】



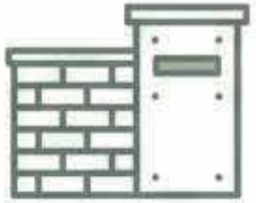
主な原因

1. 理想のデザインの詰め込みすぎ
2. ハウスメーカーの「100万円ぐらい」という甘い概算見積もり

※外構・エクステリアパートナーズ 利用者面談データ

主要工事10項目：箇所別の費用相場一覧

理想の外構を構成する各パーツの費用感を把握しましょう。



塀・囲い

50〜100万円



ガレージ・カーポート

40〜100万円

（土間コンクリート打ちのみなら約20万円）



庭

10〜100万円

（芝生など簡易工事は10万円程度から）



玄関アプローチ

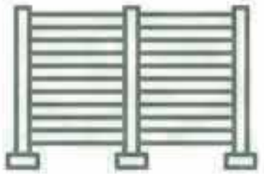
30〜60万円



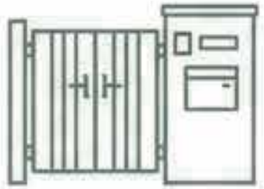
テラス・ウッドデッキ

40〜50万円

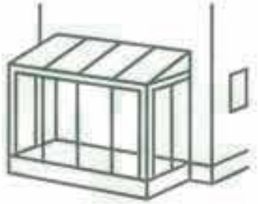
暮らしを豊かにする、その他の主要工事。



フェンス
30〜50万円



門まわり
15〜30万円
（門扉・門塀・ボスト・表札など）



サンルーム
40〜100万円



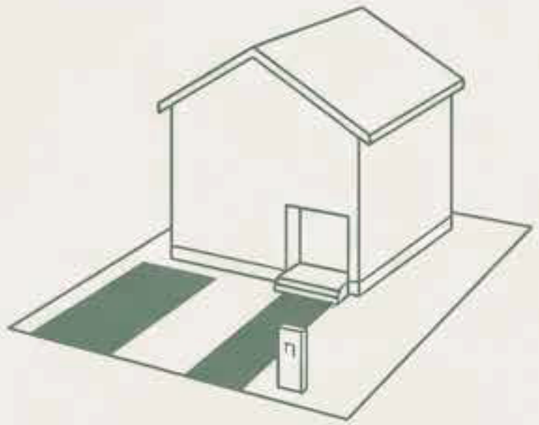
照明
10万円〜
（1本あたり1〜3万円）



植栽
5万円〜
（シンボルツリー1本で4〜8万円前後）

予算別：どこまでの工事が可能か

実際の工事事例から見る、費用別のプランイメージ。

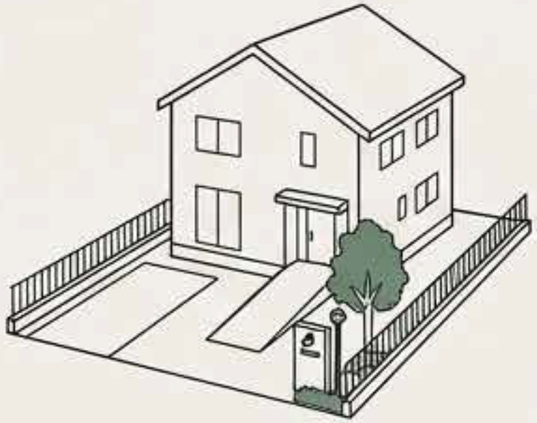


【100万円の事例】

主な工事：

- 駐車場(1台分)
- アプローチ
- 門柱(ポスト/インターホン)
- ブロック塀

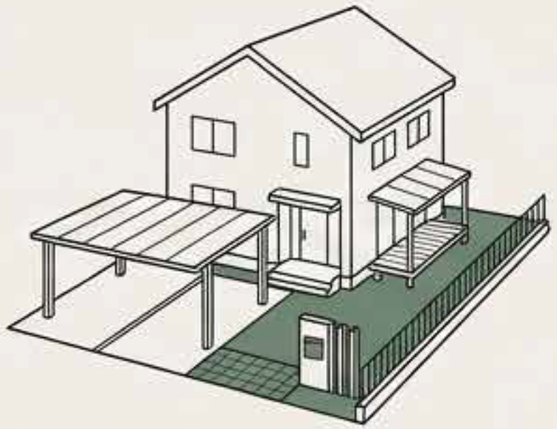
※この予算帯は2人に1人が予算オーバーになるため注意が必要です。



【200万円の事例】

主な工事：

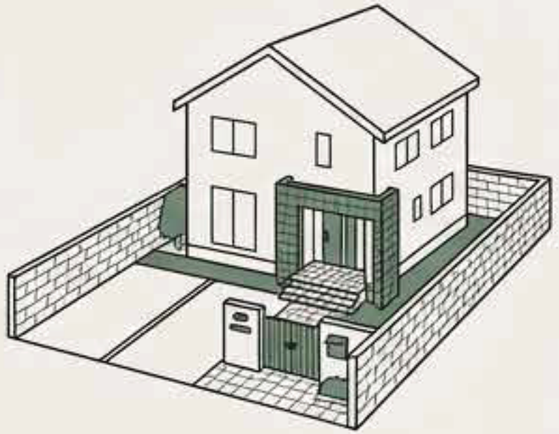
- 駐車場(1台分), スロープ
- 門柱, ブロック塀
- フェンス, 照明, 植栽



【270万円の事例】

主な工事：

- 駐車場(2台分), カーポート
- 人工芝, テラス屋根
- フェンス, 門柱, タイル工事



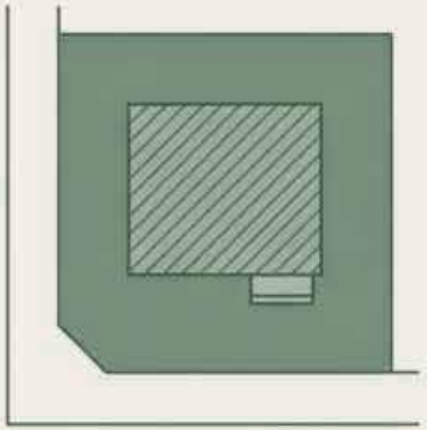
【340万円の事例】

主な工事：

- 駐車場(2台分)
- ブロック塀(境界/門袖)
- 階段, タイル工事
- ポスト/宅配ボックス, 照明

「建築費の10%」は間違い。本当のコスト変動要因とは？

外構費用は、以下の3つの変数の組み合わせで決まります。



① 外構面積

敷地面積から建築面積を引いたもの。面積が広いほど、コンクリートやフェンスなどの「面積物」の費用が高くなります。



② 外構タイプ

費用は「クローズド＞セミクローズド＞オープン」の順に高くなります。プライバシー確保と費用のバランスが重要です。



③ 工事範囲

工事箇所が増えれば、費用は足し算で増えていきます。長期的的に見て本当に必要かを見極めることが大切です。

予算内で理想を叶える、コストコントロール術

1



施工内容の無駄を省く

「今すぐ必要か？」を基準に優先順位をつけ、工事内容を厳選。
デザインはシンプルにするとコストを抑えられます。

2



専門業者に直接依頼する

ハウスメーカー経由の場合、10%~20%の中間マージンが発生します。
専門業者に直接依頼することで、この費用をカットできます。

3



部分的にDIYでやる

植栽や表札・ポストの設置など、安全で簡単な作業はDIYも選択肢。
手間はかかりますが、コスト削減に繋がります。

もし予算が限られるなら、どから手をつけるべき？

生活の利便性と安全性に直結する工事を最優先に考えましょう。

最優先：駐車スペース

利便性



暮らしの快適さに直結します。未舗装だと雨の日にぬかるむなど、日々のストレスの原因に。「最初に工事しておけばよかった」という声が最も多い箇所です。

次点：フェンス・塀

安全性



防犯、プライバシー保護の観点で重要です。特にお子様やペットがいるご家庭では、飛び出し防止のためにも優先度が高くなります。

外構工事の費用相場まとめ

1 全体相場を把握する



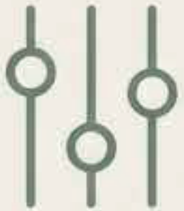
150〜250万円が中心。
リフォームは100万円以下が多い。

2 予算は200万円を目安に



新築一式なら200万円が現実的なライン。予算オーバーは想定内に。

3 コストの変数を理解する



費用は「面積」「タイプ」「範囲」で決まる。箇所別相場を参考に具体化する。

4 賢い進め方を知る



優先順位を決め、ハウスメーカー経由ではなく専門業者に相談することが成功のカギ。